

オスピス・ド・ボーヌ とは？



Noblesse Oblige

「すべて多く与えられた者は、多く求められ、多く任された者は、更に多く要求される。」（「ルカによる福音書」12章48節）

「ノーブレス オブリージュ」という

崇高な魂の継承者達によって守られてきたオスピス・ド・ボーヌ

自らが授かった高潔な義務を果たすために・・・

貴族から寄進された珠玉の銘煙

History ...

それぞれの畑に歴史があり、
寄進した名士達の想いが伝わる…

オスピス・ド・ボーヌ

歴史、その崇高な理念

オスピス・ド・ボーヌの始まりは 1443 年。ブルゴーニュ公国の財務長官だったニコラ・ローラン(写真右中央)が、妻のギゴヌ・ド・サラン(写真右下)の懇請を受け、全財産を投じて貧しい人々や老人のための施療院を設立。以後、コート・ド・ボーヌ地区を中心に、多くの地主から畑が寄進され、そこで造られたワインを販売して施設の運営資金を賄っていました。1859 年以降、現在のようにワインが慈善オークションにかけられるようになり、ブルゴーニュ最大のワイン祭りへと発展しました。

550 年を超える歴史は、ブルゴーニュの真髄とも言うべき伝統です。

現在、「オスピス・ド・ボーヌの競売会」と並び有名な「コンフレリ・デ・シュヴァリエ・デュ・タストヴァン(利酒騎士団)」。サン・ヴァンサン(利酒騎士団)の祭りやタストヴィナージュラベルのワインにも重要な役割を果たし、クロ・ド・ヴージュの晩餐会で有名ですが、結成されたのは第一時代戦後。1920-1930 年頃に、ヌイ・サン・ジョルジュの名門ドメヌ、アンリ・グージュ家の会合で生まれたアイデアであると言われています。

すなわち、コンフレリ・デ・シュヴァリエ・デュ・タストヴァンのまだ 100 年にも満たない歴史から考えると、オスピス・ド・ボーヌの 550 年を超える歴史と伝統は、まさにブルゴーニュ・ワインの精髓を伝える特別な 1 本と言えます。

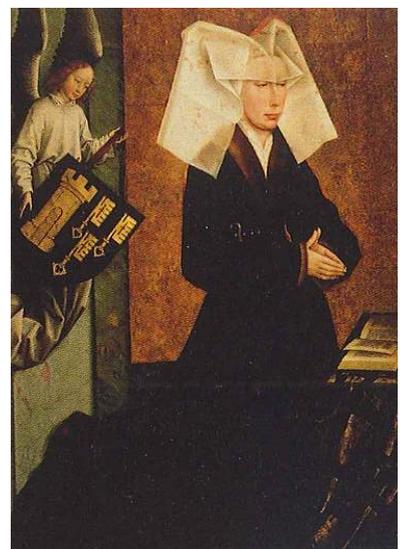
現在“Les Trois Glorieuses”(栄光の3日間)と呼ばれるこのオークションは、毎年11月の第3土・日・月曜日に行われます。

歴史や風土といった文化と共に、墮落したクリュニー派を離れたシトー派の修道士によって切り拓かれたブルゴーニュの銘ワイン畑。ブルゴーニュを真に愛する者ならば、年に一度、正しく嗜みたいチャリティオークションです。

所有畑

1443 年当初、ニコラ・ローラン夫妻の僅かな寄進畑から始まったオスピス・ド・ボーヌも、今日、60 ヘクタールもの畑を所有します。

注目すべき点は、各時代の名士達が、その社会貢献の精神と自らの榮譽をかけて、ブルゴーニュ最高峰中の最高峰と言える畑(各畑の中でも最上の区画)を寄進してきたことにあります。



醸造

1977年、醸造長に就任し、オスピスの名声を一気に名手、アンドレ・ポルシュレ氏が、一時、ドメヌ・ルロワに一時引き抜かれていましたが、1994年から再びオスピスに戻り、最新のステンレスタンクを導入する等、今の土台を築き上げました。現在は、その弟子となるローラン・マッス氏がその栄光と伝統を引き継いでいます。

オスピスの問題

いかに腕利きのポルシュレ氏やマッス氏といえ、オスピス側が予算に限りがある中で、且つ、ネゴシアン団体の変質的な管理下にあり、また商業的に11月の第3日曜日までに60ヘクタール分の膨大な量のワインをマロラクティック醗酵まで終わらせる必要があるという中で、その品質には限界がありました。さらに、醸造後のワインの育成段階であるエルバージュ（特に品質差が出るのは、瓶詰め前のフィルタリングや清澄等の処理）によって、同じ銘柄でも、品質に大きなばらつきや品質の低下が見られました。

この問題の解決は2005年、ボヌ市の英断によるクリスティーズとワインディレクターに就任したアンソニー・ハンソン氏の登場まで待たねばなりませんでした。

Christie's...

長年ボヌ市の管理下の下、主にネゴシアンを中心とした団体による運営がなされてきたオスピス・ド・ボヌ。ワインチームによる品質向上、及び、オークションの厳正性を期待され、2005年よりクリスティーズが運営を任されるようになりました。フランス伝統のオスピス・ド・ボヌをイギリス人の手に一任するというのは、一大決断であったと言われ、オスピスの品質向上に挑戦する並々ならぬ決意の表れと言えるでしょう。



『Burgundy』の著者でもある、クリスティーズ・ワイン部長のアンソニー・ハンソン氏

元々、地元の名士の寄付を行った畑ばかり、すなわち、高名なアペラシオンの中でも最上クラスの銘畑ばかりを保持するオスピス・ド・ボヌゆえ、クリスティーズの運営によって、究極の品質が担保されることになりました。既に選果の徹底、醸造の変更、畑での作業の変更等が行われ、最も優れた素性を持つ、本来のテロワールの力を発揮しつつあります。

Winegrocery...

2009年より、「クリスティーズ・オスピス・ド・ボヌ・オークション日本特約販売代理店」となるワイングロッサリー。オスピス・ド・ボヌの歴史と伝統の復活を日本に伝えるコーディネーターとして、品質管理に長けたブルゴーニュワインに強いインポーター、並びに、現地のクルティエと特別提携を結びました。

エルバージュ(ワインの育成)を行う素晴らしい小規模生産者のアレンジ、その後の輸出入手続きからお届けまでを一元化し、トータルサポートプログラムとして提供いたします。

クリスティーズの力によって、「最高峰」と呼ぶにふさわしい名声を取り戻したオスピス・ド・ボヌの樽を、皆様のお手元に届くまで、ワイングロッサリーがトータル・コーディネートいたします。

是非、ブルゴーニュの伝統と崇高な精神(社会貢献)の復活に皆様もご参加、ご協力下さい。